



令和元年 8月2日(金)
(2019年)

No. 14984 1部370円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿支部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ホームページ <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

- ☆平成30年度特許出願技術動向調査 [7]
ーハイバリアフィルムー (1)

- ☆知的財産研修会(外国中間対応を想定した、
基礎となる特許明細書の書き方) (13)
- ☆フラッシュ(特許庁人事異動) (14)
- ☆特許庁長官 就任挨拶 (16)

平成30年度特許出願技術動向調査 [7]

ーハイバリアフィルムー

特許庁審査第三部審査調査室
特許庁総務部企画調査課

1. はじめに

ハイバリアフィルムは、水蒸気や酸素の透過を防ぐために用いられるフィルム(バリアフィルム)よりも、高いバリア性能を備えたフィルムであって、基材フィルムに、水蒸気や酸素の透過を防ぐための特別な膜を設けてなるフィルムです。

ハイバリアフィルムは、食品などの包装材として用いることで長期保存が可能になり、食品ロスの削減

につながります。また、有機ELディスプレイ等のフレキシブル基板の部材としても欠かせないものです。

このように、ハイバリアフィルムは豊かな日常生活を担い、その重要性はますます高くなっています。他方で、様々な種類のフィルムが、ハイバリアフィルムという名でまとめられており、どのような用途、どの水準のバリア特性等に注目して開発しているのかが、極めて分かりにくい状況になっています。



伊東国際特許事務所

会長
副会長
所長代理

*弁理士 伊東 忠彦
○弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
○弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

所長 伊東 忠彦
副所長 石原 重治
副所長 宮崎 隆一
副所長 新井 寛弘
副所長 古田 礼郎
副所長 井村 一樹
副所長 青木 敬一
副所長 遠山 瞳
副所長 山田 清志
副所長 佐藤 雅洋
副所長 田口 宏子
副所長 猪俣 綾子
副所長 稲井 義亮
副所長 佐々木 尚治
副所長 酒井 誠治
副所長 石川 淳
副所長 小野 亨
副所長 藤田 大義
副所長 上 英治
副所長 スティーブントウ

顧問 伊東 忠彦
顧問 石原 重治
顧問 宮崎 隆一
顧問 新井 寛弘
顧問 古田 礼郎
顧問 井村 一樹
顧問 青木 敬一
顧問 遠山 瞳
顧問 山田 清志
顧問 佐藤 雅洋
顧問 田口 宏子
顧問 猪俣 綾子
顧問 稲井 義亮
顧問 佐々木 尚治
顧問 酒井 誠治
顧問 石川 淳
顧問 小野 亨
顧問 藤田 大義
顧問 上 英治
顧問 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

*弁理士 伊東 忠彦
*弁理士 石原 重治
*弁理士 宮崎 隆一
*弁理士 新井 寛弘
*弁理士 古田 礼郎
*弁理士 井村 一樹
*弁理士 青木 敬一
*弁理士 遠山 瞳
*弁理士 山田 清志
*弁理士 佐藤 雅洋
*弁理士 田口 宏子
*弁理士 猪俣 綾子
*弁理士 稲井 義亮
*弁理士 佐々木 尚治
*弁理士 酒井 誠治
*弁理士 石川 淳
*弁理士 小野 亨
*弁理士 藤田 大義
*弁理士 上 英治
*弁理士 スティーブントウ

IPUSA PLLC

米国特許弁護士

ハーマンパリス

米国特許弁護士

有馬 佑輔

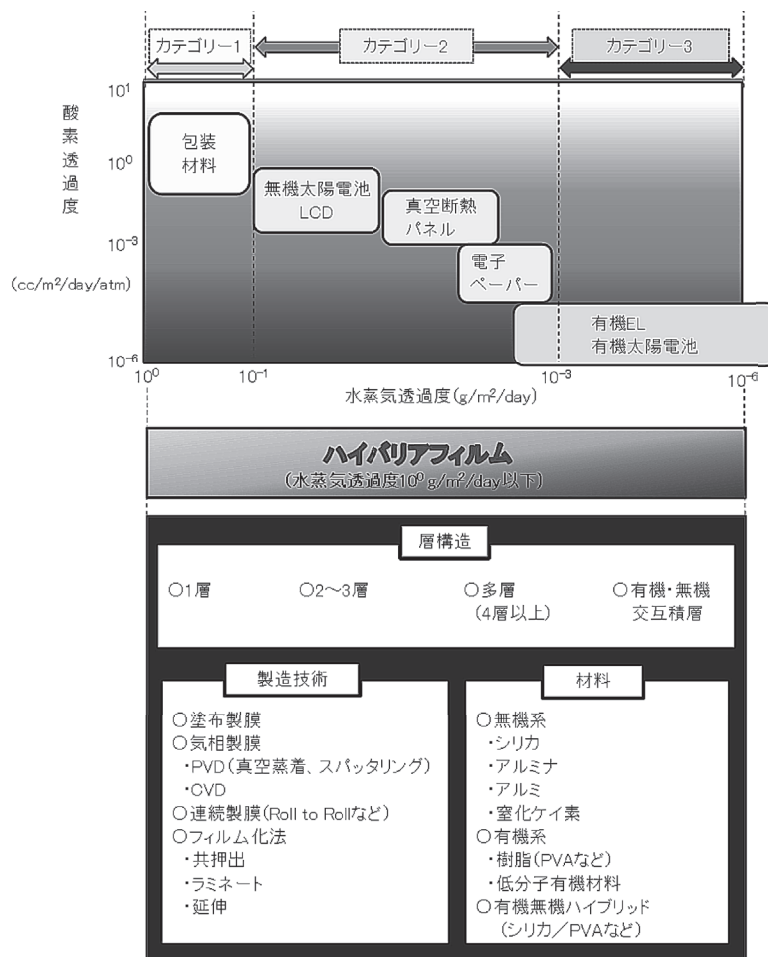
米国特許弁護士

ロナルドスナイダー

米国特許弁護士

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 丸の内 MY PLAZA (明治安田生命ビル) 16階
TEL 03(5223)6011(代表) FAX 03(5223)7121~2(国内部) 03(5223)7123~5(外国部) E-Mail: itohpat@itohpat.co.jp URL <http://www.itohpat.co.jp>

図1 【ハイバリアフィルムの技術俯瞰図】



このような背景の下、ハイバリアフィルムに関する特許を水蒸気透過度のカテゴリーごとに調査し、今後の展望を整理しました。

また、有機ELディスプレイ市場は、2020年には金額ベースの市場規模で液晶ディスプレイ市場の約50%に達するとも予想されています。

2. 市場動向

(1) 国内の市場規模

バリアフィルムの国内の市場規模は、微増推移となっています。バリアフィルムは、重量ベースでは約8割が食品用包装用に使用されています。

(2) 主な応用産業の世界の市場規模

食品包装市場は、2019年までに約3,060億ドルに到達し、アジア太平洋地域の成長率が最も高いと予測されています。

有機ELディスプレイ市場は2015年からの5年間で3倍以上の大きな市場拡大が予想されていま

(3) 日系企業の海外での事業展開状況

食品・包装材料事業にとって、成長著しい東南アジアは先進諸国への供給基地、市場としての魅力度が高い地域です。日系企業各社は徐々に軸足をインドネシアやタイ、ベトナムなどの東南アジアに移しつつあります。これらの地域は経済成長を背景に個人消費も増加、食品包装市場にも好影響が出始めており、今後、バリアフィルムの需要が期待できます。

(4) 標準化の取組と規格内容

(i) バリアフィルムの透過度測定などの標準化は、